

アジア・ゼロエミッション共同体(AZEC)推進関係省庁会議(第4回) 議事要旨

日時：令和7年2月27日(木) 17:00～17:20

場所：官邸2階 小ホール

出席者：橋内閣官房副長官、市川内閣官房副長官補(外政)、阪田内閣官房副長官補(内政)、畠山内閣官房 GX 実行推進室長、中村外務省大臣官房地球規模課題審議官、西山内閣官房内閣審議官(内閣官房副長官補付)、江島内閣官房内閣審議官(海外ビジネス投資支援室)、堀本金融庁総合政策局政策立案総括審議官、日下部外務省国際協力局審議官、土谷財務省国際局長、森農林水産省輸出・国際局長、依田経済産業省大臣官房審議官(通商政策局・農林水産品輸出担当)、村瀬資源エネルギー庁長官、田中国土交通省国際統括官、堀上環境省大臣官房審議官、山田 AZEC 担当大使、小林内閣広報官

- 各構成員から、

- ・ 昨年10月の第2回 AZEC 首脳会合で採択された「今後10年のアクションプラン」に基づき、各省庁が各国のカウンターパートとの間で進めている議論の現状について説明があった。

- 山田 AZEC 担当大使から、

- ・ 2月16日から2月22日まで、マレーシア、インドネシアを訪問し、次回の AZEC 首脳会合に向けて、両国政府及び ASEAN 事務局等と意見交換を実施したこと。
 - ・ 両国政府との間で、昨年首脳間で採択された「アクションプラン」に基づきルール形成や案件形成を進める方針について再確認できたこと。
 - ・ 次回の首脳会合の開催に向けて調整が進んでいること。
- について報告があった。

- 最後に、橋内閣官房副長官から、

- ・ AZEC は、昨年10月の第2回首脳会合において、「今後10年のためのアクションプラン」を含む首脳声明が採択され、アジア規模で脱炭素市場を構築していくため、脱炭素のルール形成と個別プロジェクトの実施を両輪として取り組んでいく、新たなステージに入ったこと。
- ・ 与党においても AZEC 議連が設立され、機運が高まっていること。
- ・ 本日は、第2回 AZEC 首脳会合で採択された「アクションプラン」を踏まえ、関係省庁が、それぞれの政策手段や知見を十分に活用し、実際に積極的に取り組んでいる内容を聞き、パートナー国との間で着実に取組が進んでいることを実感したこと。
- ・ 山田 AZEC 担当大使から、マレーシア・インドネシア出張の報告を受け、次回の AZEC 首脳会合に向け、調整が進んでいることを確認したこと。
- ・ 今後も AZEC が求心力を維持するためには、アクションプランに基づき、目に見える成果を示していくことが非常に重要だと考えること。

- ・ 気候変動に対する世界の取組に大きな変化が生じ得る中、「脱炭素・経済成長・エネルギー安全保障」の同時実現、そして、「多様な道筋の下でのネット・ゼロの実現」という AZEC の原則を堅持していく真価が問われる段階に来ていると考えていること。
- ・ 国内外でモメンタムが高まっているこの機を逃さず、関係省庁が引き続きしっかりと連携し、本年も AZEC の取組をさらに加速、発展するようお願いすること。

について発言があった。

(以上)